

令和3年1月28日

社会福祉法人つみき

つみき第8

管理者 小池敏之

放課後等デイサービスガイドラインに基づき、下記のとおり自己評価・保護者からの評価を実施しましたのでご報告いたします。

## 記

### 1、実施概要

自己評価表：常勤職員4名・非常勤職員4名を対象に実施。

実施日：令和3年1月8日

保護者向け評価表：利用者保護者27名を対象に実施（有効回答17件）

実施期間：令和2年12月28日～令和3年1月8日

### 2、評価方法

自己評価表・保護者向け評価表の結果を参考に、意見の多かった点について職員間で討議。

### 3、公表方法

ホームページにて公表。広報誌『つみき新聞』にてその旨を告知。

### 4. 主な工夫している点

【設問4】業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか

◎毎月の会議や日々の終礼等を中心に、広く職員の意見を取り入れられるよう努め、必要に応じて個別支援目標の共通理解・共通認識をはかる機会となるようにしている。

【設問20】障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか

◎今年度はサービス担当者会議自体がなかったものの、相談支援のモニタリングには最もふさわしい者が対応するようにしている。

【設問 22】 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか

◎主治医と直接に連絡を取ることはないものの、『主治医指示書』でやり取りをしている。連絡体制を整えておくことを必須事項・絶対条件とすると、コロナ禍の今は特に施設・家庭・医師のいずれにとっても負担となってしまうため、推奨事項・十分条件という姿勢で取り組んでいる。

【設問 26】 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか

◎児童館は未就学児対象である場合が多く、またコロナの影響で利用できなくなってしまった中でも、公園あそび等で一般の子と遊具をゆずりあって使ったり、場合によっては一緒に遊ぶケースもある。ただし保護者のニーズ自体は非常に低く、一般の児童との交流を望んでいない保護者が多い。

【設問 32】 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか

◎コロナの影響で今年度はできなかったものの、昨年度までは地域の親の会と連携してイベント・講演会を開催しており、保護者会も開催していたので、今後も状況が許せばそういった活動を継続していく。

【設問 37】 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか

◎近隣商店街での買い物・近隣の公園の利用・周辺地域での散歩を行い、地域の中で活動することができている。また、地域住民にトイレを貸したり、道案内・行き先案内に応じる等、地域住民と接する機会は少なくない。

## 5. 主な改善すべき点（改善目標）

【設問 36】 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか

◎（保護者向けより「時々もう少し詳しく当日の様子等が聞けたらと思う時がある」という意見を踏まえて）日々の申し送りを保護者に行う際、「質問はありますか？」「最近ご自宅ではどうですか？」等のひと言を付け加えることで、保護者が話しやすいよう配慮する。

【設問 38】 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか

◎マニュアル自体はあるものの周知については改善が必要なため、会議や研修を通して職員間の周知に努める。また、保護者についても年度ごとの配布等、さらなる周知をはかる。（※新型コロナウイルス関連の対応については全家庭にメール・配布物等で周知している。）

【設問 39】 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか

◎各曜日について、年1回以上は訓練を実施する。下校時等に避難場所の確認を行う。また、折り畳み式のヘルメット等、施設環境に配慮した防災用具を購入し、充実させる。

## 6. 欄外意見

令和3年度に報酬改定が行われるが、同時にこの自己評価表の内容についても改訂されることが望まれる。現行のものは平成27年度に作成されたもので、現在に至るまでに放課後等デイサービスを取り巻く状況は急速に変化したため、設問によっては現況に見合っていない内容も少なくはない（以下の通り）。

**【設問 9】** アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか

→「放課後等デイサービス計画」について、「個別支援計画」への変更が望ましい。

**【設問 29】** 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか

→保護者に対する“トレーニング”という表現は、親自身の生き立ちや特性、家庭による生活状況等へ充分配慮した表現とは言えない。「ペアレント・ケア」や「養育者支援」等の表現が適切かと思われる。保護者と支援者とがフランクな関係でざっくばらんに助言・アドバイスし合える関係性の構築を推奨することが望まれる。

**【設問 37】** 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか

→行事への地域住民の招待は、地域性や感染症対策等を踏まえると、あまり現実的とは言えない。

以上